



国際ロボット展の歩き方

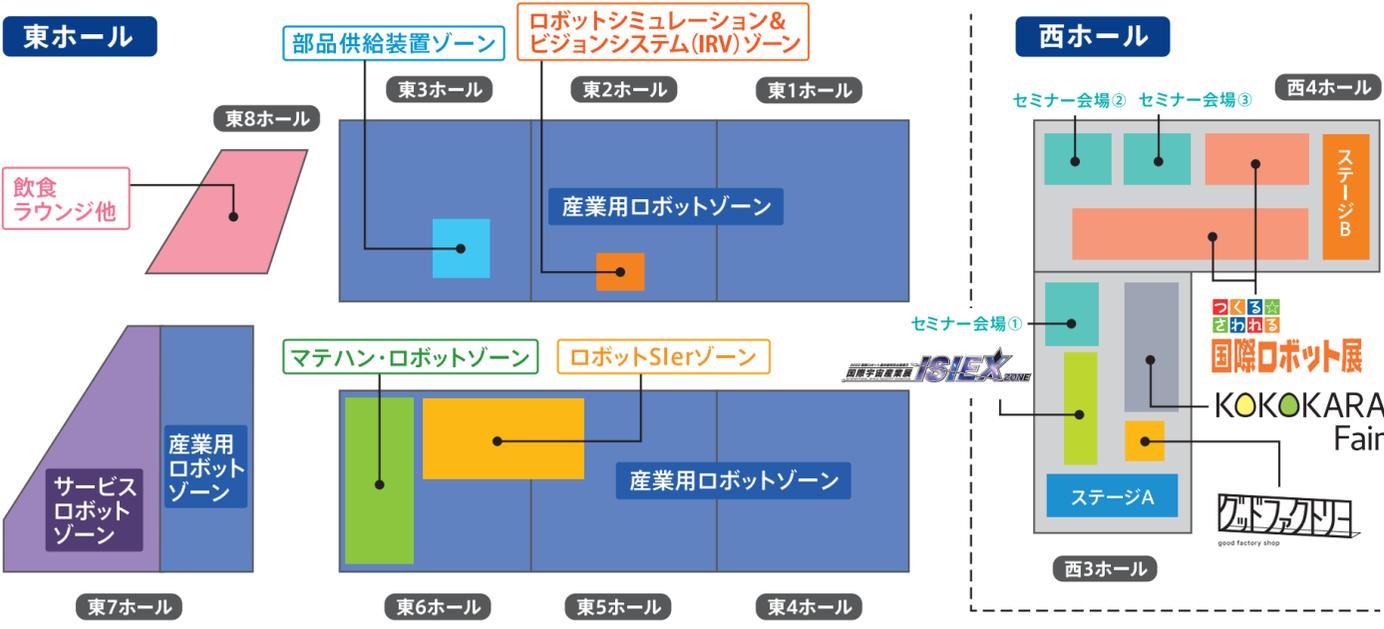
リアル・オンラインへの
 入場登録はこちらから▶

IREX[®] ONLINE
 INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022
18日まで開催!

オンライン会場のみ出展者やオンライン限定講演・
 ウェビナーなど見どころ満載!

主催 日本ロボット工業会、日刊工業新聞社
 入場料 1,000円 (入場登録者、中学生以下は無料)

3月9日から4日間、東京ビッグサイトの東1~8ホール、西3・4ホールで**2022国際ロボット展**が開催される。今回で24回目を迎え、「**ロボットがつなぐ人に優しい社会**」をテーマに、615社・団体、3,227小間が出展(うち49社は15カ国からの海外出展者)。人とロボットが共存・協働する社会を目指して、国内外から最先端のロボットや人工知能(AI)、情報通信技術(ICT)などの高度な関連技術が一堂に集結する。



主催者おすすめ! ロボ展攻略ガイド



はじめに
 製造業を支えてきた**産業用ロボット**を中心に、ロボットは長年、私たちとともに歩んできました。人手不足や人件費高騰などの従来の課題に加え、コロナ禍において事業継続や非接触の問題が浮き上がったことで、ロボットへの期待は一層の高まりをみせています。2022国際ロボット展では、人とロボットがこれから見据える「人に優しい社会」を会場全体で体現します。ぜひ、ご自身で新しい社会の一端に触れていただければと思います。

初めてご来場される方へ
 ロボットを導入したい、興味がある、業界研究など、ご来場の目的はさまざまだと思いますが、まずは**狙いを定めず、全体を回る**ことをおすすめします。ロボット産業と一括りにしてもその裾野の広さ、複雑さに驚かれると思います。東1~3、4~6ホールそれぞれコの字形に巡らされたメイン通路をたどると、全体を俯瞰しやすいです。一見目的からは距離があるような展示からも、新たな発見が得られると思います。

産業用ロボット(IR)ゾーン【東1~7ホール、オンライン】
 東1~7の各ホールではロボットから機能部品・要素技術、システム、異業種にわたり数々の展示がなされ、それらを囲うようにロボットメーカーによる大規模展示が展開されます。
 本展のトピックスの一つが東5・6ホールに設けられた**ロボットSler(システムインテグレーター)ゾーン**です。Slerはロボットシステム構築を担うエキスパートで、ロボット活用範囲の拡張とともに、その重要性から大きな注目を集めています。本ゾーンではロボットが活躍する現場に近い視点で、ロボットがつなぐ社会が再現されます。
 東6ホールには**マテハン・ロボットゾーン**が新設されています。マテハン(マテリアルハンドリング)など物流分野は近年、ロボットによる自動化が飛躍的に行われています。ロボットの異業種への浸透を肌で感じることができ、ロボット活用の現在地を映しているとも言えます。
海外メーカーの展示はコロナ禍で前回より縮小を余儀なくされましたが、個々のブースからは技術力の高さ、技術動向を垣間見ることができます。そのほか、ロボット技術向上に大きく寄与するビジョンシ

テムやシミュレーションなどの**ロボットシミュレーション&ビジョンシステム(IRV)ゾーン**、**部品供給装置ゾーン**など、バラエティーに富んだ展示が凝縮されています。

サービスロボット(SR)ゾーン【東7ホール、オンライン】
 東7ホールではサービスロボット関連技術が展示されています。サービスロボットはコロナ禍でより人々の期待と関心を集めるようになりました。**物流や農業、警備、介護・医療**など、さまざまな分野のロボットが集います。関係省庁や自治体と連携した展示も数多く、官民一体となって**ロボットの社会実装**が進められています。ロボットとしてのIRとSRの境界線は薄れつつあります。IRゾーン目当ての方も、ぜひ体感してください。



PICK UP 講演・パネルディスカッション ★14~18日までアーカイブ配信あり
 会場: 西3・4ホール
 そのほか出展者セミナー・ウェビナーなど多彩なプログラムを無料で聴講いただけます。

3月9日(水)

ステージA 13:00~16:30 『iREX ロボットフォーラム 2022』~社会が求めるロボット、そして変わる社会~					
第一部	13:05~13:25	HCI (FA・ロボットシステムインテグレーション協会) 代表取締役社長(副会長) 奥山 剛旭氏	第二部	14:40~15:00	川崎重工 精密機械・ロボットカンパニー 取締役 執行役員 高木 登氏
	13:25~13:45	清水建設 ロボット・ICT開発センター長 専務執行役員 印藤 正裕氏		15:00~15:20	ファナック 専務執行役員 取締役 執行役員 稲葉 清典氏
	13:45~14:05	ABB President, Robotics Division マーク・セグーラ氏		15:20~15:40	不二越 取締役 技術開発本部長 DX推進担当 国崎 晃氏
	14:05~14:25	KUKA Robotics, Chief Sales Officer ミハエル・オッター氏		15:40~16:00	安川電機 代表取締役 専務執行役員 取締役 執行役員 ロボット事業部長 小川 昌寛氏

3月11日(金)

ステージB 10:30~12:00 『製造業が「脱炭素」を今は始めるべきこれだけの理由』

モデレーター **末吉 光太郎氏** (みずほフィナンシャルグループ 兼 みずほ銀行 法人業務部 サステナブルビジネス 企画チーム 次長 兼 SDGsビジネスデスク テスク長)

パネリスト
 CDP Worldwide-Japan アンソニエイティブ・ディレクター **高瀬 香純氏**
 パナソニック 品質・環境本部 環境経営推進部 室長 **下野 隆二氏**
 ベンダ工業 代表取締役社長 **八代 一成氏**
 boost technologies 代表取締役 **青井 宏憲氏**

3月12日(土)

ステージA 10:30~11:20 『急拡大する宇宙ビジネス!なぜ今、宇宙なのか』

モデレーター **堀江 貴文氏** (インターステラテクノロジズ 実業家)

パネリスト
 FUNDINNO 代表取締役COO **大浦 学氏**
 菊池製作所 取締役 **乙川 直隆氏**
 関西学院大学 教授 **加藤 雅俊氏**
 経済産業省 経済産業政策局 新規事業創造推進室 室長補佐 **皆藤 彰吾氏**
 経済アナリスト **馬淵 磨理子氏**

注目の出展製品

Standard Robots 東3ホール E3-06
 工業物流のフレキシブル変革をリードする

世界累計4000台以上の産業用ロボット出荷台数を誇るStandard Robotsは、3C(コンピューター、通信、家電)業界において、中国国内最大の自律走行搬送ロボット(AMR)を開発している。自社開発のレーザーSLAMナビゲーション技術による空間認識で、停止精度±5mmを実現。マルチセンサーで障害物も自動回避し、複雑な製造シーンにも幅広く導入されている。今回、日本初出展となるクリーンルーム向けの自動搬送ロボット「Oasis180D」や、1t以上のピック&リリースが可能なフォークリフト「Gulfシリーズ」が登場する。

overseas@standard-robots.com

甲府精鋳株式会社 東3ホール E3-13
 パーツフィーダー「ネジーナ」に新シリーズ

甲府精鋳のパーツフィーダー「ネジーナ」は各種自動機や半自動工程への部品供給装置として使用できる。新開発の「NJN-DV250」シリーズは大容量で既存の大型機よりもスリムな形状。パラメーターデジタル表示で、かみ込みやすい加工対象物(ワーク)に対応した薄型回転ドラムを採用し、振動安定化機能も標準搭載した。自動車内装用プラスチックリベット(ひょう)などの大型ワークにも対応する。今回、新シリーズを加えた計5シリーズを稼働展示する。用途や特殊仕様など要望に合わせた専用設計も可能だ。

055-275-5333

ロボ展 特設サイト 来場前の予習、来場後の振り返り&情報共有に
 ロボット関連ニュース、動画、注目の出展企業など 日々発信中!